

教職員の皆様へ

教育センターだより【13号】

令和元年12月17日発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/

適応指導教室（さくら教室）2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0696-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

教育フォーラム in なばり 2019

12月7日(土)
REPORT



このたよりでは、教育フォーラムで、出展した教育センター事業についてレポートします。

レポーター：
フォラミちゃん



伝えよう私たちのまち名張

～お宝発見！ふるさと学習「なばり学」
名張市教育委員会・名張郷土研究会

名張で過ごし、名張を学び、
名張を愛する子どもたちを。

見慣れた景色が、大人になって改めて美しく思える気持ちを。

なるほど。

工作教室 水引き細工



Kidsサポータークラブの指導もさすが。



すごい集中力が必要だわ。

箸袋の
できあがり！

「なばり学」クイズ第2弾

教育フォーラムの講演会で、名張郷土研究会から紹介された名張の昔話のタイトルは？→「風呂に入る」

答がわかったら

来場者数4000人突破記念として、学校・園美術展オリジナル缶バッジをプレゼントします。

！答はセンターお立ち寄りの際に事務室の袖田まで。(先着5名様)



学校・園美術展 運営委員研修の内容をお伝えします

11月28日(木)、学校・園美術展の前日準備を終えた後、運営委員研修が行われました。事前アンケートから得た先生方からの質問内容も含みながら、講師の先生方から貴重なアドバイスをいただきましたので、一部紹介いたします。

【図画・工作】

講師：竹田 進 先生



【小学校】自分の感動や夢を持つてのびのびと作品作りに取り組んでいます。高学年になるにつれ、新しい題材や技法に挑戦するなど、根気よく丁寧な様子、子どもの想いやこだわりがよく伝わってきます。今後も、制作に取り組むまでの教室での話し合いや交流も大切にしていきたいものです。

【中学校】1年時で鉛筆や絵の具の基本的な技能を身につけるための作品から、2、3年生の立体感の表現や構図の取り方、色彩の豊かさなど、創造性豊かな作品へと成長が見られます。工作でも題材に合った材料を選び、きめ細かく丁寧に仕上げています。

【書写】講師：

福村 俊夫 先生
岩森 進 先生



名前も丁寧に書けています。

4063名もの人が来館され、1つ1つの作品を楽しんでくださいました。

【小学校】低学年の硬筆は元気よくのびのびと書けている作品が多いです。毛筆では、学年が進むにつれて筆の使い方や字形の整え方などの基礎基本が定着してきています。

【中学校】楷書、行書ともに全体的に手本に忠実に基本をおさえて書けています。



「伊賀流忍者カルタ」貸し出します！



教育センターでは、「ふるさとカルタ」「方言カルタ」に続いて、「伊賀忍者カルタ」を10セット購入しました。伊賀忍者は、忍術を私利私欲のためでなく、正しいことに使うことを重んじ、日々の鍛錬や精神統一など、現代の私たちにも学ぶべき点が多くあるとされています。ぜひ、そういった学びの機会やふるさとの歴史に触れる機会としてもご活用下さい。興味があれば、センターへお問い合わせください。【↓カルタの例です】



絵柄も興味深いですよ。

か 賀の道は山の尾根行く秘密道

ね 猫の目や太陽や星で時を知る

若手教員スキルアップ研修

ピンチをチャンスにする「生徒指導」

～学校での問題行動への対応の極意～
 講師：市教委指導主事 大杉 栄介 先生
 日時：1月10日（金）16:00～17:00
 場所：教育センター サイエンスルーム

The date was CHANGED!

でも注意

自主研修講座

小学校外国語教育

11月22日（金）、今年度第1回目の自主研修「小学校外国語教育」が行われました。教科書を扱うにも、アクティビティを設定するにも、まずは理論が大切であるというコンセプトのもと、言語活動とは何を指すのか、文字指導や評価は、どのような順序と方法によって進めていくべきかなどを原点から勉強し直すという提案をもとに、大変有意義な研修ができました。

実際にどのようにアクティビティを設定していけば「練習」が「言語活動」となるのかを、具体例とともに参加者も体験しながら、小学校の外国語教育に求められているものをイメージするような時間もありませんでした。その後は、参加された先生方から、日常どのようなことで迷ったり悩んだりしているのかを出し合うことによって、思いや方向性を共有することもできました。

★iPad活用を積極的に実践する中で、子どもたちの感想から、「入力に時間がかかり、うまく考えや内容をまとめられない。」「授業中に他ごとをしている子が多い。」「などが挙げられています。問題点や課題も意識しながら、効果的な活用をしていきたいですね。



記者の目
 小学校外国語教育とは言え、こういった場に中学校の先生がいると活性化にもなるし、中学校の先生が知るべきこともたくさんあるなあ。



シリーズ第5回

Q:私はふだん、授業の内容に応じた資料や画像をインターネットなどで準備し、授業で提示しています。これはすでに「ICT教育」って呼んでいいのですか？

A:「学習者への興味・感心を高め、わかりやすい授業の実現」は確かに文部科学省が期待するICT活用の1つです。ですから、教師が授業の準備や子どもの評価をする際に活用しているものも含むと考えられます。

しかし、文部科学省は同時に、「主体的・協働的な学び（アクティブラーニング）の実現」と「特別な支援が必要な子どもに対する活用」を期待しています。そういった意味では、教員の公務を効率化するだけでなく、コミュニケーションやディスカッションを取り入れた学習活動にも有効な利用方法があることを学んだり探ったりすることがより理想的と言えます。

名張市では今年度9月に全ての小学校にiPadが導入されました。来年度4月には全ての中学校にも導入されます。

その活用法を探りながら、教師が互いに楽しく情報交換したり、授業づくりが深まったりするといいですね。ただし、あくまでもICTは学習目標達成のためのツールなので、ICT機器を使用することが目的となってしまうと、学習の成果や効率に支障をきたす場合もあるので注意したいところです。



カードを用いた言語活動を楽しみ体験

次回は、2月21日（金）16:30～教育センターで行います。ぜひご参加を。



「センターCafé」第6回（最終）は、1月18日（土）13:30から15:30までです。

もみじのつどい 最終報告

～名中ブロック・北中ブロック～

11月13日（水）に行われた名張中ブロックでは、4年生の人たちによる歓迎の花道があり、みんな少し照れくさそうにしながら体育館に入場しました。他のブロックと同様に、名刺交換やバルーン遊びなどで交流を深めました。その他にも、各学校に因んだ「〇×クイズ」が準備されており、短時間で充実した内容の中で楽しむことができました。



名中ブロック



北中ブロック

11月26日（火）は、北中ブロックでのつどいが行われました。名刺交換、じゃんけん列車、バルーン遊びの他、最後は空き缶積みで盛り上がりました。制限時間ぎりぎり、積み重ねた多くの缶があちらこちらで倒れ、悲鳴や笑い声が交錯し大変盛り上がりしていました。1つ1つの活動ごとに、中学生がしっかりと小学生をリードするなど、「さすが」と思う温かい場面も多く見られました。